

北海道社会福祉士会 スーパーバイザー プロフィール

ふりがな 氏 名	しばた あつし 柴田 淳
所属支部	北海道社会福祉士会 道北地区支部
☐ 第1号 認定上級社会福祉士 ☐ 第2号 認定社会福祉士の更新者 ☐ 第3号 認定上級社会福祉士に準じる者 ☒ 第4号 (1) 社会福祉士 ☐ 第4号 (2) 施設機関等において職員のスーパービジョンを担当している者 ☐ 第4号 (3) 教員等でスーパーバイザーとして豊富な経験と実績のある者	

【職務等経験】 ※時系列に明確・簡潔に記入ください

平成 14 年 4 月	社会福祉法人 名寄みどりの郷	～H16. 3 退職
平成 16 年 4 月	独立行政法人高齢・障害雇用支援機構	～H18. 3 退職
平成 18 年 4 月	社会福祉法人 釧路丹頂協会	～H19. 2 退職
平成 19 年 3 月	特定非営利活動法人 ベネッセレ	～H29. 10 退職
平成 28 年 4 月	旭川大学非常勤講師	～継続
平成 29 年 10 月	医療法人社団 旭川圭泉会病院	～継続

【職能団体等における活動経験】 ※時系列に明確・簡潔に記入ください

平成 23 年度～	道北地区支部 会計
平成 27 年度～	旭川市成年後見支援センター受任調整委員
平成 29 年度～	地区支部ぱあとなあ 合議体委員
平成 29 年度～	司法分野との連携特別委員会

【最終学歴】

平成 29 年 3 月 日本福祉大学 福祉経営学部（通信教育） 卒業

【資格・特技等】

平成 14 年	4 月	介護福祉士
平成 17 年	4 月	社会福祉士
平成 21 年	2 月	介護支援専門員（実務研修修了）
平成 21 年	5 月	精神保健福祉士

【ソーシャルワーク実践において大切にしていること】

あるがままの利用者の理解、自己決定・自己実現への支援ということを常に意識している。また、障がいや疾患に合わせて、どうやったら達成できるのか、可能なことと不可能なことの説明など、具体的、かつ丁寧さを心掛けている。能力や想いを踏まえ、どのように考えて判断し対応したのかという部分を、本人の言葉を大事にし、まずは聞くことを心掛け、うなずきや相槌、反復や要約といった、傾聴の技法を用いることも意識している点である。

【スーパービジョンの経験】 ※直近の経験から記載してください。

- ① 他領域・他職種に対してのスーパービジョンであり、医療現場で勤務している援助者が対象。業務内容の悩みがあり、その解決を図りたいという明確な目標があったケース。
- ② 障がい者の就労支援事業所にて勤務する支援員へのスーパービジョン。新卒から一年が経過し、スーパービジョンを希望しているわけではないが、業務の振り返りを行った際に、利用者への支援について、目標の再設定が必要とされたケース。
- ③ 障がい者の就労支援事業所に勤務する支援員。入職して5年目であるが、他職業で数年の社会人経験があり、指示された内容においてある程度の自己判断で過不足なく業務を担える職員へスーパービジョンを行ったケース。

【スーパーバイジーへの一言】

スーパービジョンが、共に学びながら、自分への気づきとなる時間になればと思っています。課題や悩み、日々の業務を振り返ることで、自分を理解し自信を深め、明日への活力になればと思います。

【条件】

- ### ① 活動地域について

同支部内 ・ 同支部以外 ・ その他（ ）

- ② 受け入れ可能人数について

1~2 名 可能

- ③ その他（セッション可能曜日、時間帯、バイザーへの連絡方法などの条件について、出来るだけ詳しく記載ください）

その都度、バイジーと協議し日程調整（日時、場所、期間）を図りたいと思っています。